

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	景観小委員会	主 査 名：小林 敬一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	委員長名：出口 敦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「景観の計画的リビジョン」をテーマに景観向上のための計画論的再検討を行う ・2012 年度は、総合的なとりまとめの検討を行う ・学会大会における研究協議会の開催、同資料集の作成 ・景観ルックインの実施（「名古屋の歴史的市街地・円頓寺、四間道境界まちづくり」） 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：本年度はなし	
	小林敬一（東北芸術工科大学）、志村秀明（芝浦工業大学）、宇於崎勝也（日本大学）、浅野 聡（三重大学）、阿部大輔（東京大学）、岡田雅代（おかだプランニングラボ）、嘉名光市（大阪市立大学）、小林史彦（金沢大学）、佐藤宏亮（早稲田大学）、椎原晶子（晶地域文化研究所）、野中勝利（筑波大学）、原田栄二（東北大学）、三宅 諭（岩手大学）、宮脇 勝（千葉大学）、中島直人（慶応大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	景観研究史 WG ：景観研究の先駆者の実績や内外の景観研究の動向をレビューする	
2012 年度予算	310,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s4/

項 目	自己評価
委員会開催数	11 回（拡大幹事会を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 景観ルックイン（「名古屋の歴史的市街地・円頓寺、四間道境界まちづくり」、見学会ならびにミニシンポジウム）9 月 11 日 参加者数 27 名 (オリエンテーリング用地図を含んだ資料を作成し、ミニシンポを開催)
大会研究集会	1. PD「景観の計画的リビジョン 4 豊かな人間＝環境づくりにむけた展望」 (資料名) 同上
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 4 年間の 4 年目にあたり、研究集会の開催ととりまとめに向けて議論を重ね、その実施と同資料集の作成を通じて、当初計画を概ね達成したものと考える。 2. 4 年間の成果を刊行企画に向けて議論を行い、内容の深化と整理を行うことで、当初計画を達成したものと考える。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 地方の委員も多く、また近年各自校務に縛られる日が多くなっており、小委員会の開催に全員の出席が得られ難く、多くは拡大幹事会として集まることとした。 2. 特に WG などで共同研究を育みたいが、その活動のための財源が確保されていない。